

一般社団法人 日本応用数理学会

平成 30 年度定時社員総会

日時：平成 30 年 6 月 29 日（金）15:00 ～ 16:30

会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部 6 号館セミナー室A/D

議事：

- 第 1 号議案
平成 29 年度事業報告の件
- 第 2 号議案
平成 29 年度決算の件
平成 29 年度監査報告
- 第 3 号議案 役員選任の件
(報告事項：選挙結果，任期満了)
理事候補者
今井隆太，國府寛司，櫻田英樹，田辺隆人，時弘哲治，松尾宇泰，
森山園子，山中脩也，横張孝志
監事候補者
梅田裕平
- 第 4 号議案
平成 30 年度事業計画の件
- 第 5 号議案
平成 30 年度予算の件
- 第 6 号議案
会費規程改正の件

終了後：

フェロー任命式

2017 年度業績賞表彰式

2017 年度年会若手優秀講演賞表彰式

2018 年研究部会連合発表会優秀講演賞表彰式

会長特別表彰表彰式

懇親会

一般社団法人日本応用数理学会 平成29年度事業報告

本学会は平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)下記のとおり事業を行った。

1. 会誌「応用数理」の刊行
Vol. 27 No. 2 (6月), No. 3 (9月), No. 4 (12月)
Vol. 28 No. 1 (3月)の4号を発刊した。
Vol. 27 (No.1- No.4) 総頁数, 192頁[192].
2. JSIAM Online Magazine の編集・公開
3. 「日本応用数理学会論文誌」の刊行
Vol. 27 No. 2 (6月), No. 3 (9月), No. 4 (12月)
Vol. 28 No. 1 (3月)の4号を電子版としてJ-STAGEで公開した。
Vol. 27 (No.1- No.4) 総頁数, 353頁[439].
4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集 (年3回発刊)
5. JSIAM Letters (電子英文速報誌) の刊行
Vol. 10 (4篇)をJ-STAGEで公開。
6. 出版
シリーズ応用数理 第6巻「数値線形代数とHPC」の出版準備
7. 年会の開催
平成29年9月6日～8日, 武蔵野大学 有明キャンパスにて第27回年会を開催し, 522名[461]の参加を得て盛会裡に終了した。(総合講演2件[2], オーガナイズドセッションおよび一般講演 219件[242], 計221件[244], ポスターセッション40件[30])
8. 研究部会の育成促進 (次頁の研究部会一覧を参照)
今年度は20研究部会の活動推進が行われた。研究部会連合発表会が3月15日～16日, 大阪大学吹田キャンパスで開催され280名[325]の参加を得て盛況であった。
9. 各種委員会活動の推進
国際活動委員会, ネットワーク委員会等の諸活動が精力的に進められた。
10. 国際活動
ICIAM2023の日本開催が決定した。
CSIAMの年会の場でCSIAMおよびKSIAMとの連携を深めた。
International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)のメンバー学会。
オーストラリア数学会(AustMS) S I A Mとは相互協定を締結している。
11. 他学会等との交流
日本数学会とは懇談会を開催し, 年会の総合講演者を相互招待した。
横断型基幹科学技術研究団体連合のメンバー学会。
日本学術会議メカニクス・構造研究連絡委員会理論応用力学専門委員会の講演会の共催学会。
理数系教育問題連絡会のメンバー学会。男女共同参画協会連絡会のメンバー学会。
日本シミュレーション学会, 日本計算工学会とは密接な情報交換を行った。
12. 会員・賛助会員の現状
会員数は1584名[1613]になった。(平成30年3月末現在)
(入会61名(正47, 学14), 退会84名(正58, 学26), 種別変更(学→正14名)
名誉会員6名を推挙した。
賛助会員は22社[22] 44口[44]となった。
13. 表彰(フェロー, 業績賞, 論文賞, ベストオーサー賞, 年会若手優秀講演賞・ポスター賞,
研究部会連合発表会優秀講演賞)
第11期フェローとして4名を決定した。任命式は総会で行われる。

業績賞理論分野0件[1], 応用分野1件[2]を選考した。総会の席上で表彰する。

論文賞7編(和文3, JJIAM2, JSIAM Letters2)[7], ベストオーサー賞2編[2]の論文に対し, 年会の席上で表彰を行った。年会で若手優秀講演賞4名[4], 最優秀ポスター賞1件[2], 優秀ポスター賞3件[7]を選考し, 若手優秀講演賞は総会の席上で表彰する。研究部会連合発表会で優秀講演賞3名[3]を選考し, 総会の席上で表彰する。

14. 若手層・女性研究者の学会参加の促進

年会において若手・女性研究者ランチミーティング, 研究部会連合発表会において女性研究者ランチミーティングを開催した。

男女共同参画学協会連絡会女子中高生理系選択支援ワーキンググループによる「女子中高生夏の学校」に企画委員およびポスター展示・キャリア相談担当として参加として理事が参加し, ポスター展示を行った。

15. 産業界・社会との交流促進と連携強化

応用数理ものづくり研究会技術セミナー(第四期6回講演)を開催し21社[20]の参加を得た。

16. 協賛等

外部学協会等と48件[40]の協力関係を結んだ。

17. 数理科学振興の政策課題の検討

備考:[]は, 平成28年度実績

日本応用数理学会 研究部会一覧

「ウェーブレット」研究部会

「応用カオス」研究部会

「応用可積分系」研究部会

「折紙工学」研究部会

「科学技術計算と数値解析」研究部会

「機械学習」研究部会

「行列・固有値問題の解法とその応用」研究部会

「計算の品質」研究部会

「産業における応用数理」研究部会

「数理医学」研究部会

「数理政治学」研究部会

「数理設計」研究部会

「数理的技法による情報セキュリティ」研究部会

「数理ファイナンス」研究部会

「数論アルゴリズムとその応用」研究部会

「メッシュ生成・CAE」研究部会

「離散システム」研究部会

「連続体力学の数理」研究部会

「若手の会」研究部会

「環瀬戸内応用数理」研究部会(地域研究部会)

以上

平成29年度決算報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	H29予算	H29決算	H28決算(参考)	備考
1. 会費・入会金収入	18,730,000	18,622,250	18,749,500	
正会員会費	16,000,000	15,970,750	15,905,000	
学生会員会費	500,000	412,500	577,500	
入会金	30,000	39,000	37,000	
賛助会費	2,200,000	2,200,000	2,230,000	
2. 事業収入	4,716,000	5,425,701	6,813,842	
応用数理編集料	216,000	216,000	216,000	
論文誌掲載料	600,000	680,000	600,000	*1
JSIAM-Letters収入	0	0	0	
年会収入	2,500,000	2,938,000	4,373,500	
セミナー収入	600,000	715,746	679,000	
研究部会収入	600,000	596,000	705,000	
雑収入	200,000	132,656	240,342	*2
寄付金収入	0	147,299	0	*2
3. 雑収入	4,000	1,815	4,353	
受取利息	4,000	1,815	4,353	
当期収入合計(A)	23,450,000	24,049,766	25,567,695	
前期繰越金	8,447,367	8,447,367	7,213,104	
収入合計(B)	31,897,367	32,497,133	32,780,799	

*1 27巻2号～28巻1号(17件)

*2 別表参照

平成29年度決算報告つづき

平成29年4月1日～平成30年3月31日

Ⅱ 支出の部

(単位:円)

科目	H29予算	H29決算	H28決算(参考)	備考
I. 事業費支出	4,729,000	3,477,192	6,677,601	
応用数理刊行事業費	387,000	215,400	787,416	
印刷製本費(委託費)	350,000	194,400	771,552	
会議費	35,000	21,000	15,000	
雑費	2,000	0	864	
論文誌刊行事業費	472,000	379,159	787,424	
委託費	450,000	379,159	770,344	
会議費	20,000	0	16,000	
雑費	2,000	0	1,080	
JSIAM Letters刊行事業費	110,000	73,975	86,640	
会議費	60,000	25,375	37,500	
雑費(委託費)	50,000	48,600	49,140	
年会事業費	2,500,000	2,207,300	4,343,072	
印刷製本費(委託費)		67,889	32,659	
通信運搬費		5,272	29,912	
会議費		1,081,256	3,064,213	
その他人件費		567,000	55,600	
旅費交通費		18,360		
会場費		0	1,067,658	
雑費		467,523	93,030	
セミナー事業費	460,000	463,433	436,790	
その他人件費		0	0	
会議費		60,000	68,772	
旅費交通費		121,687	155,914	
会場費		98,000	6,150	
講師謝礼金		183,746	167,046	
雑費		0	38,908	三部会セミナー印刷代等
研究部会事業費	800,000	137,925	236,259	
その他人件費		36,000	29,000	
会議費		34,279	117,503	
旅費交通費		20,000	6,237	
印刷製本費		0	23,450	
会場費		15,261	41,830	
通信運搬費		4,755	7,900	
雑費		27,630	10,339	
Ⅱ. 管理費支出	18,321,648	18,079,014	17,655,831	
給料手当	3,100,000	3,354,500	3,007,500	
応用数理購入費	5,875,200	5,875,200	5,875,200	
JJIAM購入費	310,000	260,749	252,000	
活動促進費	110,000	166,048	94,910	男女共同参画等
関連団体等会費	160,000	137,742	138,201	
保守費	500,000	418,236	460,391	会員システム利用料等
事務委託費	4,500,000	4,451,867	4,492,631	
委託費	3,000,000	2,974,879	3,017,374	
印刷製本費	500,000	516,930	523,843	
通信運搬費	1,000,000	960,058	951,414	
会議費	200,000	196,714	198,000	
事務局運営費	3,366,448	3,029,958	2,938,998	
賃借料	1,766,448	1,766,448	1,766,448	
福利厚生費	40,000	8,376	9,910	
旅費交通費	500,000	479,230	507,200	
通信運搬費	300,000	243,166	251,946	
什器/OA機器費	200,000	128,606	0	
コピー機リース料金	210,000	185,724	208,950	
消耗品費	200,000	111,904	102,426	
雑費	150,000	106,504	92,118	
法人化関連経費	200,000	188,000	188,000	
雑損益		0	10,000	
当期支出合計(C)	23,050,648	21,556,206	24,333,432	
当期収支差額(A-C)	399,352	2,493,560	1,234,263	
次期繰越金(B-C)	8,846,719	10,940,927	8,447,367	

貸借対照表

1 頁

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

平成30年 3月31日現在

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
現 金 (101)	15,674	5,203,970	5,201,783	17,861	0.0
通常みずほ銀行根津 (121)	13,492,085	19,529,667	21,402,656	11,619,096	26.7
会費みずほ銀行麹町 (123)	784,691	4,313,261	3,252,566	1,845,386	4.2
三菱東京UFJ銀行 (124)	227,188	2	0	227,190	0.5
三 井 住 友 銀 行 (125)	178,084	847	0	178,931	0.4
ゆうちょ銀行 (126)	3,220,999	11,905,000	8,350,864	6,775,135	15.6
【現金及び預金】	17,918,721	40,952,747	38,207,869	20,663,599	47.5
未収金 論文誌別刷 (166)	160,000	680,000	680,000	160,000	0.4
未 収 金 (167)	0	630,500	451,500	179,000	0.4
立 替 金 (183)	0	323,360	53,360	270,000	0.6
【流動資産】	18,078,721	42,586,607	39,392,729	21,272,599	48.9
基本財産 三菱東京 (375)	10,008,501	847	0	10,009,348	23.0
基本財産 三井住友 (376)	10,000,000	0	0	10,000,000	23.0
〔基本財産〕	20,008,501	847	0	20,009,348	46.0
敷 金 (264)	748,000	0	0	748,000	1.7
国際交流事業積立金 (269)	312,807	1,147,301	0	1,460,108	3.4
【その他固定資産】	1,060,807	1,147,301	0	2,208,108	5.1
【固定資産】	21,069,308	1,148,148	0	22,217,456	51.1
【資産合計】	39,148,029	43,734,755	39,392,729	43,490,055	100.0
未 払 金 (306)	3,600,296	4,256,372	6,290,838	5,634,762	13.0
前 受 会 費 (309)	6,032,500	6,045,000	5,857,000	5,844,500	13.4
預 り 金 (311)	0	18,746	18,746	0	0.0
仮 受 金 (310)	0	0	2,000	2,000	0.0
【流動負債】	9,632,796	10,320,118	12,168,584	11,481,262	26.4
【負債合計】	9,632,796	10,320,118	12,168,584	11,481,262	26.4
その他一般正味財産	29,515,233	0	2,493,560	32,008,793	73.6
〔一般正味財産〕	29,515,233		2,493,560	32,008,793	73.6
(うち基本財産への充当額)	20,008,501		847	20,009,348	46.0
【正味財産合計】	29,515,233		2,493,560	32,008,793	73.6
【負債・正味財産合計】	39,148,029	10,320,118	14,662,144	43,490,055	100.0

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

1 応用数理刊行事業

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

自 平成29年 4月 1日

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔 事 業 収 益 〕	0		216,000	216,000	100.0
応用数理編集料 (441)	0	0	216,000	216,000	100.0
【 経 常 収 益 】	0		216,000	216,000	100.0
〔 事 業 費 〕	0	215,400		215,400	100.0
会 議 費 (522)	0	21,000	0	21,000	9.7
印 刷 製 本 費 (534)	0	34,560	0	34,560	16.0
委 託 費 (544)	0	159,840	0	159,840	74.2
【 経 常 費 用 】	0	215,400		215,400	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		600	600	
【当期経常増減額】	0		600	600	
【税前当期一般正財増減】	0		600	600	
【当期一般正味財産増減】	0		600	600	
一般正味財産期首残 (681)	-1,448,196	0	0	-1,448,196	
【一般正味財産期末残高】	-1,448,196		600	-1,447,596	
【正味財産期末残高】	-1,448,196		600	-1,447,596	

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

2 論文誌刊行事業

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

自 平成29年 4月 1日

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔 事 業 収 益 〕	0		680,000	680,000	100.0
論 文 誌 別 刷 代 (442)	0	0	680,000	680,000	100.0
【 経 常 収 益 】	0		680,000	680,000	100.0
〔 事 業 費 〕	0	379,159		379,159	100.0
委 託 費 (544)	0	379,159	0	379,159	100.0
【 経 常 費 用 】	0	379,159		379,159	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		300,841	300,841	
【当期経常増減額】	0		300,841	300,841	
【税前当期一般正財増減】	0		300,841	300,841	
【当期一般正味財産増減】	0		300,841	300,841	
一般正味財産期首残 (681)	-817,655	0	0	-817,655	
【一般正味財産期末残高】	-817,655		300,841	-516,814	
【正味財産期末残高】	-817,655		300,841	-516,814	

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

3 JSIAM Letters刊行事業
 JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会
 JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

自 平成29年 4月 1日
 至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
[事 業 費]	0	73,975		73,975	100.0
会 議 費 (522)	0	25,375	0	25,375	34.3
委 託 費 (544)	0	48,600	0	48,600	65.7
【 経 常 費 用 】	0	73,975		73,975	100.0
【調整前当期経常増減額】	0	73,975		-73,975	
【当期経常増減額】	0	73,975		-73,975	
【税前当期一般正財増減】	0	73,975		-73,975	
【当期一般正味財産増減】	0	73,975		-73,975	
一般正味財産期首残 (681)	-527,200	0	0	-527,200	
【一般正味財産期末残高】	-527,200	73,975		-601,175	
【正味財産期末残高】	-527,200	73,975		-601,175	

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

合10 刊行事業

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

自 平成29年 4月 1日

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔事業収益〕	0		896,000	896,000	100.0
応用数理編集料 (441)	0	0	216,000	216,000	24.1
論文誌別刷代 (442)	0	0	680,000	680,000	75.9
【経常収益】	0		896,000	896,000	100.0
〔事業費〕	0	668,534		668,534	100.0
会議費 (522)	0	46,375	0	46,375	6.9
印刷製本費 (534)	0	34,560	0	34,560	5.2
委託費 (544)	0	587,599	0	587,599	87.9
【経常費用】	0	668,534		668,534	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		227,466	227,466	
【当期経常増減額】	0		227,466	227,466	
【税前当期一般正財増減】	0		227,466	227,466	
【当期一般正味財産増減】	0		227,466	227,466	
一般正味財産期首残 (681)	-2,793,051	0	0	-2,793,051	
【一般正味財産期末残高】	-2,793,051		227,466	-2,565,585	
【正味財産期末残高】	-2,793,051		227,466	-2,565,585	

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

4 年会事業
JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会
JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔 事 業 収 益 〕	0		2,938,000	2,938,000	100.0
年 会 収 益 (444)	0	7,000	2,945,000	2,938,000	100.0
【 経 常 収 益 】	0		2,938,000	2,938,000	100.0
〔 事 業 費 〕	0	2,207,300		2,207,300	100.0
そ の 他 人 件 費 (517)	0	567,000	0	567,000	25.7
会 議 費 (522)	0	1,081,256	0	1,081,256	49.0
旅 費 交 通 費 (523)	0	18,360	0	18,360	0.8
通 信 運 搬 費 (524)	0	5,272	0	5,272	0.2
印 刷 製 本 費 (534)	0	67,889	0	67,889	3.1
雑 費 (545)	0	467,523	0	467,523	21.2
【 経 常 費 用 】	0	2,207,300		2,207,300	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		730,700	730,700	
【当期経常増減額】	0		730,700	730,700	
【税前当期一般正財増減】	0		730,700	730,700	
【当期一般正味財産増減】	0		730,700	730,700	
一般正味財産期首残 (681)	1,598,922	0	0	1,598,922	
【一般正味財産期末残高】	1,598,922		730,700	2,329,622	
【正味財産期末残高】	1,598,922		730,700	2,329,622	

(30. 5.28 11:49)

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

5 セミナー事業

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

自 平成29年 4月 1日

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔 事 業 収 益 〕	0		715,746	715,746	100.0
セ ミ ナ ー 収 益 (445)	0	0	715,746	715,746	100.0
【 経 常 収 益 】	0		715,746	715,746	100.0
〔 事 業 費 〕	0	463,433		463,433	100.0
会 議 費 (522)	0	60,000	0	60,000	12.9
旅 費 交 通 費 (523)	0	121,687	0	121,687	26.3
会 場 費 (537)	0	98,000	0	98,000	21.1
諸 謝 金 (539)	0	183,746	0	183,746	39.6
【 経 常 費 用 】	0	463,433		463,433	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		252,313	252,313	
【当期経常増減額】	0		252,313	252,313	
【税前当期一般正財増減】	0		252,313	252,313	
【当期一般正味財産増減】	0		252,313	252,313	
一般正味財産期首残 (681)	1,446,963	0	0	1,446,963	
【一般正味財産期末残高】	1,446,963		252,313	1,699,276	
【正味財産期末残高】	1,446,963		252,313	1,699,276	

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

6 研究部会事業
JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会
JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔 事 業 収 益 〕	0		596,000	596,000	100.0
研究部会収益 (446)	0	4,000	600,000	596,000	100.0
【 経 常 収 益 】	0		596,000	596,000	100.0
〔 事 業 費 〕	0	137,925		137,925	100.0
その 他 人 件 費 (517)	0	36,000	0	36,000	26.1
会 議 費 (522)	0	34,279	0	34,279	24.9
旅 費 交 通 費 (523)	0	20,000	0	20,000	14.5
通 信 運 搬 費 (524)	0	4,755	0	4,755	3.4
会 場 費 (537)	0	15,261	0	15,261	11.1
雑 費 (545)	0	27,630	0	27,630	20.0
【 経 常 費 用 】	0	137,925		137,925	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		458,075	458,075	
【当期経常増減額】	0		458,075	458,075	
【税前当期一般正財増減】	0		458,075	458,075	
【当期一般正味財産増減】	0		458,075	458,075	
一般正味財産期首残 (681)	1,048,243	0	0	1,048,243	
【一般正味財産期末残高】	1,048,243		458,075	1,506,318	
【正味財産期末残高】	1,048,243		458,075	1,506,318	

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

9 管理費

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

自 平成29年 4月 1日

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔受取入会金〕	0		39,000	39,000	0.2
受 取 入 会 金 (421)	0	0	39,000	39,000	0.2
〔受取会費〕	0		18,583,250	18,583,250	98.3
正会員受取会費 (431)	0	6,210,500	22,181,250	15,970,750	84.5
学生会員受取会費 (432)	0	0	412,500	412,500	2.2
賛助会員受取会費 (433)	0	0	2,200,000	2,200,000	11.6
〔事業収益〕	0		132,656	132,656	0.7
雑 収 益 (448)	0	0	132,656	132,656	0.7
〔受取寄付金〕	0		147,299	147,299	0.8
受 取 寄 付 金 (471)	0	0	147,299	147,299	0.8
〔雑収益〕	0		1,815	1,815	0.0
受 取 利 息 (481)	0	0	1,815	1,815	0.0
【経常収益】	0		18,904,020	18,904,020	100.0
〔管理費〕	0	18,079,014		18,079,014	100.0
給 料 手 当 (552)	0	3,354,500	0	3,354,500	18.6
応用数理購入費 (561)	0	5,875,200	0	5,875,200	32.5
J J I A M 購 入 費 (562)	0	512,749	252,000	260,749	1.4
会 議 費 (563)	0	196,714	0	196,714	1.1
活 動 促 進 費 (575)	0	166,048	0	166,048	0.9
関連団体等会費 (578)	0	137,742	0	137,742	0.8
保 守 費 (580)	0	418,236	0	418,236	2.3
法人化関連経費 (581)	0	188,000	0	188,000	1.0
委 託 費 (583)	0	2,974,879	0	2,974,879	16.5
印 刷 費 (576)	0	516,930	0	516,930	2.9
事務委託通信運搬費 (577)	0	960,058	0	960,058	5.3
賃 借 料 (579)	0	1,766,448	0	1,766,448	9.8
福 利 厚 生 費 (556)	0	8,376	0	8,376	0.0
旅 費 交 通 費 (564)	0	479,230	0	479,230	2.7
通 信 運 搬 費 (565)	0	243,166	0	243,166	1.3
什器・OA機器費 (573)	0	128,606	0	128,606	0.7
コピー機リース料金 (584)	0	185,724	0	185,724	1.0
消 耗 品 費 (574)	0	111,904	0	111,904	0.6
事 務 局 雑 費 (590)	0	106,504	0	106,504	0.6
【経常費用】	0	18,079,014		18,079,014	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		825,006	825,006	
【当期経常増減額】	0		825,006	825,006	
【税前当期一般正財増減】	0		825,006	825,006	
【当期一般正味財産増減】	0		825,006	825,006	
一般正味財産期首残 (681)	28,214,156	0	0	28,214,156	
【一般正味財産期末残高】	28,214,156		825,006	29,039,162	
【正味財産期末残高】	28,214,156		825,006	29,039,162	

(30. 5.28 11:49)

【事業別】

正味財産増減計算書

1 頁

合9999 会計合計

JSIAM 一般社団法人日本応用数理学会

自 平成29年 4月 1日

JSIAM01 実施事業会計

(4月 - 3月)

至 平成30年 3月31日

勘 定 科 目	前 残 高	借 方	貸 方	残 高	構成比
〔受取入会金〕	0		39,000	39,000	0.2
受 取 入 会 金 (421)	0	0	39,000	39,000	0.2
〔受取会費〕	0		18,583,250	18,583,250	77.3
正会員受取会費 (431)	0	6,210,500	22,181,250	15,970,750	66.4
学生会員受取会費 (432)	0	0	412,500	412,500	1.7
賛助会員受取会費 (433)	0	0	2,200,000	2,200,000	9.1
〔事業収益〕	0		5,278,402	5,278,402	21.9
応用数理編集料 (441)	0	0	216,000	216,000	0.9
論文誌別刷代 (442)	0	0	680,000	680,000	2.8
年 会 収 益 (444)	0	7,000	2,945,000	2,938,000	12.2
セミナー収益 (445)	0	0	715,746	715,746	3.0
研究部会収益 (446)	0	4,000	600,000	596,000	2.5
雑 収 益 (448)	0	0	132,656	132,656	0.6
〔受取寄付金〕	0		147,299	147,299	0.6
受 取 寄 付 金 (471)	0	0	147,299	147,299	0.6
〔雑収益〕	0		1,815	1,815	0.0
受 取 利 息 (481)	0	0	1,815	1,815	0.0
【経常収益】	0		24,049,766	24,049,766	100.0
〔事業費〕	0	3,477,192		3,477,192	16.1
その他人件費 (517)	0	603,000	0	603,000	2.8
会 議 費 (522)	0	1,221,910	0	1,221,910	5.7
旅 費 交 通 費 (523)	0	160,047	0	160,047	0.7
通 信 運 搬 費 (524)	0	10,027	0	10,027	0.0
印 刷 製 本 費 (534)	0	102,449	0	102,449	0.5
会 場 費 (537)	0	113,261	0	113,261	0.5
諸 謝 金 (539)	0	183,746	0	183,746	0.9
委 託 費 (544)	0	587,599	0	587,599	2.7
雑 費 (545)	0	495,153	0	495,153	2.3
〔管理費〕	0	18,079,014		18,079,014	83.9
給 料 手 当 (552)	0	3,354,500	0	3,354,500	15.6
応用数理購入費 (561)	0	5,875,200	0	5,875,200	27.3
J J I A M 購 入 費 (562)	0	512,749	252,000	260,749	1.2
会 議 費 (563)	0	196,714	0	196,714	0.9
活 動 促 進 費 (575)	0	166,048	0	166,048	0.8
関 連 団 体 等 会 費 (578)	0	137,742	0	137,742	0.6
保 守 費 (580)	0	418,236	0	418,236	1.9
法人化関連経費 (581)	0	188,000	0	188,000	0.9
委 託 費 (583)	0	2,974,879	0	2,974,879	13.8
印 刷 費 (576)	0	516,930	0	516,930	2.4
事務委託通信運搬費 (577)	0	960,058	0	960,058	4.5
賃 借 料 (579)	0	1,766,448	0	1,766,448	8.2
福 利 厚 生 費 (556)	0	8,376	0	8,376	0.0
旅 費 交 通 費 (564)	0	479,230	0	479,230	2.2
通 信 運 搬 費 (565)	0	243,166	0	243,166	1.1
什器・OA機器費 (573)	0	128,606	0	128,606	0.6
コピー機リース料金 (584)	0	185,724	0	185,724	0.9
消 耗 品 費 (574)	0	111,904	0	111,904	0.5
事 務 局 雑 費 (590)	0	106,504	0	106,504	0.5
【経常費用】	0	21,556,206		21,556,206	100.0
【調整前当期経常増減額】	0		2,493,560	2,493,560	
【当期経常増減額】	0		2,493,560	2,493,560	
【税前当期一般正財増減】	0		2,493,560	2,493,560	
【当期一般正味財産増減】	0		2,493,560	2,493,560	
一般正味財産期首残 (681)	29,515,233	0	0	29,515,233	
【一般正味財産期末残高】	29,515,233		2,493,560	32,008,793	
【正味財産期末残高】	29,515,233		2,493,560	32,008,793	

(30. 5.28 11:49)

平成29年度 雑収益一覧

入金日	内 容	金 額	支払元
2017/8/10	ストラング計算理工学印税	34,016	近代科学者
2017/12/6	著作権料	53,151	学術著作権協会
2017/12/20	著作権料	32,410	出版者著作権管理機構
2018/3/6	著作権料	13,079	学術著作権協会
	合 計	132,656	

平成29年度 寄付金収益一覧

入金日	内 容	金 額	支払元
2017/7/3	寄付金	147,299	森正武先生ご遺族
	合 計	147,299	

平成29年度 未払い金一覧

支払日	内 容	金 額	支払先
2018/4/3	法人税	70,000	
2018/4/4	事務委託費	1,710,655	ニッセイエブロ(株)
2018/4/4	事務委託印刷費	371,715	ニッセイエブロ(株)
2018/4/4	事務委託通信運搬費	428,429	ニッセイエブロ(株)
2018/4/11	学会誌印刷製本費 (PDF作成)	8,640	(株) 三秀舎
2018/4/11	学会誌委託費(j-stageアップロード)	39,960	(株) 三秀舎
2018/4/11	論文誌委託費(j-stageアップロード)	34,560	(株) 三秀舎
2018/4/12	研究部会連合発表会支出	33,203	連合発表会実行委員会
2018/5/2	応用数理27-4, 28-1購入費	2,937,600	岩波書店
	合 計	5,634,762	

平成29年度 未収金・立替金一覧

領収日	内 容	金 額	請求先
	論文誌掲載料(4件分)	160,000	
	応用数理28-1編集料	54,000	
	研究部会連合発表会参加費	125,000	
	合 計	339,000	

国際交流特別会計

入金日	内 容	金 額	備考
	前年度からの繰り越し	312,807	
2018/2/19	預金利息	2	
2018/3/28	森先生ご遺族からの寄付金	147,299	
2018/3/28	当期収支差額からの移し替え	1,000,000	
	合 計	1,460,108	

一般社団法人 日本応用数理学会
代表理事 佐古 和恵様

2017(平成 29) 年度 税務監査報告書

2017(平成 29)年度の会計につき税務監査の結果を以下の通りご報告いたします。

年 度：第6期、自 2017(平成 29)年 4 月 1 日至 2018(平成 30)年 3 月 31 日

実施日：2018(平成 30)年 5 月 15 日(火)

方 法：原始資料との突合、預貯金残高の検証、帳表類の保管状況の確認など

結 果：領収書や請求書などの原始資料が月別かつ日毎に整理されています。

日々の金銭による収支は複式簿記により適切に処理されています。

預貯金残高は金融機関発行の残高証明書と合致しています。

資産負債の細目及び内訳を確認しました。

意 見：

1. 財務諸表について

当期収入合計は約 2,400 万円で前年対比では約 150 万円減少しており、当期支出合計は 2,150 万円で約 270 万円減少しています。主な原因は年会収入と支出の減少です。

今後は会費管理を自社で行うため約 120 万円の委託費の削減が見込まれるが、ほぼ同額を会員システムの保守費に充てられるとのことで、会費収入で賄われる管理費支出に大きな影響を与えるものではないでしょう。

2. その他

アルバイトの方への支払について、その受取書に氏名の自署がありますが住所も併記してあるとなおよいでしょう。

会計ソフトの入れ替えを予定しているとのことで、科目や部門の設定など導入のサポートをいたしますのでいつでもご連絡ください。

2018(平成 30)年 5 月 15 日(火)
税理士法人 芝田会計事務所
担当 佐竹 美穂
東京都世田谷区駒沢 1 丁目 17 番 17 号
真成ビル 8 階
TEL03-3412-9511

監査報告書

一般社団法人日本応用数理学会

会長 佐古和恵 殿

平成30年5月21日

一般社団法人日本応用数理学会

監事 今井隆太

監事 齊藤宣一

私たちは、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの会計年度における監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況を正しく示していると認める。
- (2) 業務報告の内容は正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または定款により指摘すべき事項はないと認める。

以上

一般社団法人 日本応用数学会 平成30年度事業計画 (案)

本学会は平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）下記のとおり事業を行う予定である。

1. 会誌「応用数理」の刊行（6月，9月，12月，3月）
2. JSIAM Online Magazine の編集・公開
3. 電子版「日本応用数学会論文誌」の刊行（6月，9月，12月，3月）
4. Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics の編集
5. JSIAM Letters（電子英文速報誌）の刊行
6. 出版
 - ・シリーズ・応用数理 第6巻「数値線形代数とHPC」の出版
7. 年会の開催
 - ・平成30年9月3日～9月5日（於：名古屋大学東山キャンパス）
8. 研究部会の育成促進，研究部会連合発表会（於：筑波大学）の開催
9. 各種委員会活動の推進
10. 国際活動
 - ・International Council for Industrial and Applied Mathematics(ICIAM)への貢献および海外の応用数理関連学会との交流，協力の推進
 - ・ICIAM2023 の開催に向けた準備活動
11. 応用数理関連他学会との交流の推進
12. 会員・賛助会員の増強に向けたサービス向上とコミュニティーの拡大
13. 表彰
 - フェローの任命，業績賞，論文賞（和文論文誌，JJIAM，JSIAM Letters），学会誌ベストオーサー賞，年会若手優秀講演賞・ポスター賞，研究部会連合発表会優秀講演賞の表彰および各種日本応用数理学会賞等の立ち上げの検討
14. 若手層・女性研究者の学会参加の促進
15. 産業界・社会との交流促進と連携強化
16. 数理科学振興の政策課題の検討，応用数理ロードマップの検討
17. その他

以上

平成29年度決算と平成30年度予算案

I 収入の部

(単位:円)

科目	H29予算	H29決算	H30予算案	備考
1. 会費・入会金収入	18,730,000	18,622,250	18,840,000	
正会員会費	16,000,000	15,970,750	16,000,000	
学生会員会費	500,000	412,500	500,000	
入会金	30,000	39,000	40,000	
賛助会費	2,200,000	2,200,000	2,300,000	
2. 事業収入	4,716,000	5,425,701	4,846,000	
応用数理編集料	216,000	216,000	216,000	
論文誌掲載料	600,000	680,000	680,000	
JSIAM-Letters収入	0	0	0	
年会収入	2,500,000	2,938,000	2,500,000	
セミナー収入	600,000	715,746	700,000	
研究部会収入	600,000	596,000	600,000	
雑収入	200,000	132,656	150,000	
寄付金収入	0	147,299	0	
3. 雑収入	4,000	1,815	2,000	
受取利息	4,000	1,815	2,000	
当期収入合計(A)	23,450,000	24,049,766	23,688,000	
前期繰越金	8,447,367	8,447,367	10,940,927	
収入合計(B)	31,897,367	32,497,133	34,628,927	

平成29年度決算と平成30年度予算案つづき

Ⅱ 支出の部

(単位:円)

科目	H29予算	H29決算	H30予算案	備考
I. 事業費支出	4,729,000	3,477,192	4,574,000	
応用数理刊行事業費	387,000	215,400	282,000	
印刷製本費(委託費)	350,000	194,400	250,000	
会議費	35,000	21,000	30,000	
雑費	2,000	0	2,000	
論文誌刊行事業費	472,000	379,159	422,000	
委託費	450,000	379,159	400,000	
会議費	20,000	0	20,000	
雑費	2,000	0	2,000	
JSIAM Letters刊行事業費	110,000	73,975	110,000	
会議費	60,000	25,375	60,000	
雑費(委託費)	50,000	48,600	50,000	
年会事業費	2,500,000	2,207,300	2,500,000	
印刷製本費(委託費)		67,889		
通信運搬費		5,272		
会議費		1,081,256		
其他人件費		567,000		
旅費交通費		18,360		
会場費		0		
雑費		467,523		
セミナー事業費	460,000	463,433	460,000	
其他人件費		0		
会議費		60,000		
旅費交通費		121,687		
会場費		98,000		
講師謝礼金		183,746		
雑費		0		
研究部会事業費	800,000	137,925	800,000	
其他人件費		36,000		
会議費		34,279		
旅費交通費		20,000		
印刷製本費		0		
会場費		15,261		
通信運搬費		4,755		
雑費		27,630		
Ⅱ. 管理費支出	18,321,648	18,079,014	18,606,200	
給料手当	3,100,000	3,354,500	3,400,000	
応用数理購入費	5,875,200	5,875,200	5,875,200	
JJIAM購入費	310,000	260,749	310,000	
活動促進費	110,000	166,048	150,000	男女共同参画等
関連団体等会費	160,000	137,742	150,000	
保守費	500,000	418,236	500,000	会員システム利用料等
事務委託費	4,500,000	4,451,867	4,500,000	
委託費	3,000,000	2,974,879	3,000,000	
印刷製本費	500,000	516,930	500,000	
通信運搬費	1,000,000	960,058	1,000,000	
会議費	200,000	196,714	200,000	
事務局運営費	3,366,448	3,029,958	3,321,000	
賃借料	1,766,448	1,766,448	1,791,000	
福利厚生費	40,000	8,376	40,000	
旅費交通費	500,000	479,230	470,000	
通信運搬費	300,000	243,166	270,000	
什器/OA機器費	200,000	128,606	200,000	
コピー機リース料金	210,000	185,724	200,000	
消耗品費	200,000	111,904	200,000	
雑費	150,000	106,504	150,000	
法人化関連経費	200,000	188,000	200,000	
当期支出合計(C)	23,050,648	21,556,206	23,180,200	
当期収支差額(A-C)	399,352	2,493,560	507,800	
次期繰越金(B-C)	8,846,719	10,940,927	11,448,727	

平成 24 年 5 月 25 日 理事会 制定

平成 26 年 6 月 27 日 総会 改正

平成 30 年 6 月 29 日 総会 改正

第 1 章 目的

第 1 条 (目的)

この規程は、日本応用数理学会の会費について定める。

第 2 章 (入会、会員種別、および会費等)

第 2 条 (入会)

本会に入会を希望する者は、第 3 条から第 7 条に定める基準により、細則に定める入会手続きおよび入会金・年会費納入手続きをしなければならない。

~~2. 名誉会員、および賛助会員は入会金を要しない。~~

~~3.~~ 学生会員が正会員となる場合および正会員が学生会員となる場合には、入会申込書ならびに入会金を要しない。

(正会員)

第 3 条 正会員は、この法人の目的に賛同して入会した個人とする。正会員の入会金は 2,000 円とする。

2. 学生会員であった者が、当該学校を卒業または修了したとき、これを正会員とする。

(学生会員)

第 4 条 学生会員は、大学学部、大学院あるいはこれに準ずる学校の在学生のうち、本務が学生であり、この法人の目的に賛同して入会した個人とする。学生会員の入会金は 1,000 円とする。

(名誉会員)

第 5 条 名誉会員は、この法人の事業範囲対象において特に功績があり、理事会で推薦された個人とする。

(賛助会員)

第 6 条 賛助会員は、この法人の事業を賛助するため入会した個人、法人または団体とする。

第7条（年会費）

本会の会費の年額は以下の通りとする。

(1) 正会員 12,500 円

(2) 学生会員 5,500 円

(3) 賛助会員

（ア）個人の場合 1口 5,000 円（2口以上）

（イ）法人または団体の場合 1口 50,000 円

2. 会費の対象期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

3. 本会の会員は、原則として毎年12月末日までに、当該年度の会費を納入するものとする。

（細則）

第8条 （細則）

入会の手続き、会費の減免制度、会員の特典、会費滞納時の措置については、理事会の決議による会費細則において定める。

第3章（規則の改訂）

第9条（改訂）

本規程の改廃は理事会の決議および社員総会の決議により実施する。

附則

本規程は平成 ~~27~~ 30年度の会費から適用する。

一般社団法人 日本応用数理学会

2018 年度 定時社員総会

参考資料

目次

役員の退任と留任	2
選挙結果	3
名誉会員名簿	5
学会誌編集委員会	6
論文誌編集委員会	7
JSIAM Letters 編集委員会	8
国際活動委員会	9
表彰委員会	11
ネットワーク委員会	14
規程類の整備について	16

平成 30 年 6 月 29 日

一般社団法人 日本応用数理学会

一般社団法人 日本応用数理学会
退任・留任する役員の名簿

一般社団法人 日本応用数理学会では、理事・監事の任期が2年と定められております。

2018年度定時社員総会終了時に退任または辞任する理事・監事（重任予定者を含む）は以下の通りです。

理事 9 名

畔上 秀幸（副会長）	今井 桂子
萩田 武史	國府 寛司
関川 浩	高島 克幸（副会長）
友枝 明保	松尾 宇泰
吉田 真紀	

監事 1 名

今井 隆太

また、2017年度から2018年度にかけて留任する理事・監事は以下の通りです。

理事 11 名

石村 直之	井手 貴範
片岡 一朗	神山 雅子
佐古 和恵（会長）	鈴木 貴
張 紹良	土谷 隆（副会長）
中口 悦史	降旗 大介
丸野 健一	

監事 1 名

齊藤 宣一

以上

一般社団法人 日本応用数理学会 平成 30 年度 代表会員選挙ならびに役員候補者選挙 選挙結果

投票総数と投票の成立

平成 30 年 3 月 19 日に開票を行い, 正会員数 1435 名 (平成 29 年 11 月末時点) に対し期日 (平成 30 年 3 月 14 日) までの投票総数が 368 票であり, そのすべてが有効投票の要件を満たしていることを確認しました。有効投票数が全体の 6 分の 1 以上であり, 選挙規定第 13 条に基づき投票が成立することを宣言いたします。

投票結果

下記に示す投票結果にしたがい, 今回の立候補者全員が信任され, 代表会員 119 名が当選しました。総会では, 今回の選挙結果を尊重して, この代表会員による役員選挙が行われ, 役員が決定されます。

表 1 投票結果

投票の内訳	
立候補者全員を信任する	365 票
信任しない立候補者がいる	3 票
無効票	0 票
合計有効投票数	368 票
無効投票数	0 票

当選者一覧

[1] 役員候補者

副会長候補者 2 名 (改選数 2)

國府 寛司 (京都大学)
横張 孝志 ((株) 日立製作所)

監事候補者 1 名 (改選数 1)

梅田 裕平 ((株) 富士通研究所)

理事候補者 9 名 (改選数 9)

國府 寛司 (京都大学)
横張 孝志 ((株) 日立製作所)
今井 隆太 (みずほ情報総研 (株))
櫻田 英樹 (日本電信電話 (株))
田辺 隆人 ((株) NTT データ数理システム)
時弘 哲治 (東京大学)
松尾 宇泰 (東京大学)
森山 園子 (日本大学)
山中 脩也 (明星大学)

[2] 代表会員 119 名

合原 一幸 (東京大学)
秋山 浩一郎 ((株) 東芝)
池田 勉 (龍谷大学)
石田 祥子 (明治大学)
石渡 恵美子 (東京理科大学)
石渡 通徳 (大阪大学)
井手 貴範† (アイシン・エイ・ダブリュ (株))
伊藤 聡 (統計数理研究所)
井ノ口 順一 (筑波大学)
今井 隆太‡ (みずほ情報総研 (株))
今西 悦二郎 (弘前大学)
岩崎 雅史 (京都府立大学)

秋葉 博 (東京大学)
畔上 秀幸 (名古屋大学)
石井 恵三 ((株) くいと)
石村 直之† (中央大学)
石渡 哲哉 (芝浦工業大学)
磯 祐介 (京都大学)
伊藤 聡 ((国研) 物質材料研究機構)
伊藤 弘道 (東京理科大学)
今井 桂子 (中央大学)
今倉 暁 (筑波大学)
今村 俊幸 ((国研) 理化学研究所)
岩田 寛 (東京大学)

岩宮 敏幸 ((国研) 宇宙航空研究開発機構)
 内山 成憲 (首都大学東京)
 梅野 健 (京都大学)
 大石 進一 (早稲田大学)
 岡澤 健介 (新日鐵住金 (株))
 岡本 久 (学習院大学)
 荻田 武史 (東京女子大学)
 奥田 昌宏 (キャノン (株))
 尾崎 克久 (芝浦工業大学)
 梶原 毅 (岡山大学)
 片桐 孝洋 (名古屋大学)
 金児 純司 ((株) 富士通研究所)
 川原 仁志 (伊藤忠テクノソリューションズ (株))
 菊池 昇 ((株) 豊田中央研究所)
 木村 正人 (金沢大学)
 國府 寛司† (京都大学)
 齊藤 宣一† (東京大学)
 櫻井 鉄也 (筑波大学)
 佐古 和恵† (日本電気 (株))
 篠原 靖志 ((一財) 電力中央研究所)
 杉原 厚吉 (明治大学)
 鈴木 大慈 (東京大学)
 須田 礼仁 (東京大学)
 善甫 康成 (法政大学)
 尊田 嘉之 (旭硝子)
 高島 克幸 (三菱電機 (株))
 高橋 桂子 ((国研) 海洋研究開発機構)
 高橋 俊彦 (鹿島建設 (株))
 張 紹良† (名古屋大学)
 土谷 隆† (政策研究大学院大学)
 時弘 哲治† (東京大学)
 中尾 充宏 (早稲田大学／九州大学名誉教授)
 中島 研吾 (東京大学)
 中村 振一郎 ((国研) 理化学研究所)
 奈良 高明 (東京大学)
 西村 直志 (京都大学)
 畑上 到 (金沢大学)
 福井 義成 (文部科学省)
 堀之内 成明 ((株) 豊田中央研究所)
 松尾 宇泰† (東京大学)
 丸野 健一† (早稲田大学)
 室田 一雄 (首都大学東京)
 谷口 隆晴 (神戸大学)
 柳田 英二 (東京工業大学)
 山中 脩也† (明星大学)
 山本 有作 (電気通信大学)
 吉田 真紀 ((国研) 情報通信研究機構)
 渡邊 芳英 (同志社大学)

上山 大信 (武蔵野大学)
 梅田 裕平† ((株) 富士通研究所)
 江澤 良孝 (東洋大学)
 大塚 厚二 (広島国際学院大学)
 緒方 隆盛 (日本電気 (株))
 小川 知之 (明治大学)
 奥田 洋司 (東京大学)
 奥富 秀俊 (東芝情報システム (株))
 梶原 健司 (九州大学)
 片岡 一朗† ((株) 日立製作所)
 片峯 英次 (岐阜工業高等専門学校)
 神山 雅子† ((公財) 鉄道総合技術研究所)
 儀我 美一 (東京大学)
 岸本 一男 (筑波大学)
 桑原 善太 (三菱 UFJ 証券ホールディングス (株))
 小机 わかえ (神奈川工科大学)
 坂上 貴之 (京都大学)
 櫻田 英樹† (日本電信電話 (株))
 佐々 成正 ((国研) 日本原子力研究開発機構)
 代田 健二 (愛知県立大学)
 杉山 将 (理化学研究所／東京大学)
 鈴木 貴† (大阪大学)
 関川 浩 (東京理科大学)
 曾我部 知広 (名古屋大学)
 高木 剛 (東京大学)
 高田 章 (旭硝子 (株))
 高橋 大輔 (早稲田大学)
 田辺 隆人† ((株) NTT データ数理システム)
 塚田 恭章 (関東学院大学)
 土屋 卓也 (愛媛大学)
 友枝 明保 (武蔵野大学)
 中口 悦史† (東京医科歯科大学)
 中村 憲 (首都大学東京)
 中村 佳正 (京都大学)
 西浦 廉政 (東北大学)
 萩田 真理子 (お茶の水女子大学)
 速水 謙 (国立情報学研究所)
 降旗 大介† (大阪大学)
 松尾 和人 (神奈川大学)
 松本 純一 ((国研) 産業技術総合研究所)
 村重 淳 (茨城大学)
 森山 園子† (日本大学)
 柳澤 優香 (早稲田大学)
 山田 道夫 (京都大学)
 山本 野人 (電気通信大学)
 横張 孝志† ((株) 日立製作所)
 吉村 和之 (鳥取大学)

†† 平成 30 年度役員 († 非改選役員 12 名, † 改選役員候補 10 名)

2018年3月現在

日本応用数理学会 名誉会員 名簿（五十音順・敬称略）

	氏 名	学会の役職	役職（就任時）
	伊理 正夫	第7代会長・フェロー	中央大学教授，東京大学名誉教授
	大野 榮一	第6代会長・フェロー	三菱電機（株）顧問
*	岡本 龍明	第18代会長・フェロー	NTTセキュアプラットフォーム研究所，NTTフェロー， 京都大学客員教授
	小柳 義夫	第17代会長・フェロー	工学院大学情報学部長，東京大学名誉教授
*	加古 孝	第23代会長・フェロー	電気通信大学名誉教授
	河原田 秀夫	第11代会長・フェロー	千葉大学教授
*	薩摩 順吉	第21代会長・フェロー	武蔵野大学教授，東京大学名誉教授
*	高田 俊和	第20代会長・フェロー	元日本電気（株）基礎研究所主席研究員
	高橋 理一	第10代会長・フェロー	（株）豊田中央研究所代表取締役所長
	高柳 誠一	第4代会長・フェロー	（株）東芝常任顧問
	武田 康嗣	第2代会長・フェロー	（株）日立製作所専務取締役
	田中 秀雄	第16代会長・フェロー	（財）東電記念科学技術研究所常務理事
	戸田 巖	第8代会長・フェロー	（株）富士通研究所フェロー
*	萩原 一郎	第22代会長・フェロー	明治大学特任教授，同先端数理科学インスティテュート副所長， 東京工業大学名誉教授
	藤田 宏	第5代会長・フェロー	明治大学教授，東京大学名誉教授
	松宮 徹	第14代会長・フェロー	新日本製鐵（株）フェロー
*	三井 斌友	第19代会長・フェロー	名古屋大学名誉教授
	三村 昌泰	第13代会長・フェロー	明治大学教授
	矢川 元基	第15代会長・フェロー	東洋大学教授，東京大学名誉教授

*：2017年度就任

学会誌編集委員会 平成 29 年度 活動報告

編集委員長 石村 直之

1. 概要

学会誌「応用数理」は年 4 冊刊行，会員には無料配布されている。

学術的記事から気軽に読めるコラムまで幅広い内容を収録しており，会員のみならず広く応用数理に興味を持つ読者に対して，高水準の情報を提供している。

刊行後 4 ヶ月以上経過すると，応用数理の本文が J-Stage にてオープンアクセスとなっている。

2. 発刊実績

平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の発刊実績は，

第 27 巻 2 号（6 月），3 号（9 月），4 号（12 月）

第 28 巻 1 号（3 月）

の 4 号である。総ページ数は 192 ページであった。

3. その他

定期的に編集会議が行われており，平成 29 年度は通算第 222 回から第 229 回まで 8 回開催された。開催場所は，東京大学駒場キャンパス（5 回），武蔵野大学有明キャンパス（年会開催時），一橋大学国立キャンパス（2 回）であった。

論文誌編集委員会 平成 29 年度 活動報告

編集委員長 松尾宇泰

1. 概要

日本応用数理学会論文誌（以下、論文誌）は、原著論文（理論、応用、実用、ノート）およびサーベイ論文を要する和文の論文誌である。応用数理全般にわたる各分野からの投稿を奨励し、厳正な査読プロセスを経た論文が刊行される。1991 年 3 月に第 1 巻 1 号を発刊以来、毎年 1 巻 4 号を発刊しており、2017 年 3 月で第 27 巻 1 号となる。第 25 巻までは冊子体で発行され、第 26 巻からは J-Stage 上の電子ジャーナルとなった。本総会時点で、第 25 巻までのバックナンバーもすべて J-Stage 上に移行が完了している（下記、「その他」項を参照）。

2. 発刊実績

平成 29 年度に第 27 巻 2,3,4 号および 28 巻 1 号を発刊した。各部門の論文数の内訳は以下のとおりである。

原著論文（理論 5 編、応用 4 編、実用 3 編、ノート 3 編）、サーベイ論文 1 編

掲載論文数の安定を図るため 2012 年度より研究部会の特集を復活し、今後も継続的に特集を組むことを予定している。

3. その他

平成 29 年度論文賞は、理論・実用・サーベイ部門から 1 編ずつ計 3 編が選ばれた。年会および研究部会連合発表会では、投稿を呼びかけるチラシを参加者それぞれに受付にて配付し、広く投稿を呼びかけた。しかしながら、残念ながら（特集以外の一般の）投稿はやや微減傾向にあり、より抜本的な勧誘策を検討する必要がある。

論文誌編集委員会は、編集システムおよび掲載システムの全電子化に伴い、対面委員会を廃止し、必要に応じて電子的に委員会を開く格好をとっている。これにより、関東近郊に限られず全国広いエリアから編集委員を柔軟に採用できるメリットが得られているが、他方で、論文誌の方向性など根本的なことについて議論する場は（電子的なものを除いて）なくなっているため、今後、年会時の対面委員会開催などを検討していく可能性がある。

JSIAM Letters 編集委員会 平成 29 年度 活動報告

編集委員長 降旗 大介（大阪大学）

1. 概要

JSIAM Letters は 2009 年に創刊された日本応用数理学会の英文電子ジャーナルである。科学技術振興機構（JST）が運営する科学技術情報発信・流通総合システム J-STAGE 上 (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsiaml>) に公開されている。編集委員会は、編集委員長（1 名）、副編集委員長（2 名）、幹事編集委員（2 名）、英文担当（2 名）および研究部会から推薦された 44 名の編集委員で構成されている。英文 TeX 原稿で A4 版 2 段組み 4 ページ以内を原則とする。年会、研究部会連合発表会および研究部会主催・共催の研究集会で講演されたことを投稿の条件とする。著者の少なくとも 1 名が日本応用数理学会の会員であれば掲載料（投稿料）は無料、そうでない場合は 20,000 円を求める。1 ヶ月以内に査読、6 週間以内に採否を通知することを原則としている。平成 27 年度から論文賞(JSIAM Letters 部門)が新設された。賞設立後の過渡期である初回の平成 27 年度は第 1 巻から第 3 巻を、第 2 回目の平成 28 年度は第 4 巻から第 6 巻を、そして第 3 回目の平成 29 年度は第 6 巻から 8 巻までを対象とし、それぞれ 3 編、3 編および 1 編の論文を選出した。

2. 発刊実績

3 月の研究部会連絡会と 9 月の年会において開催される編集委員会に合わせて投稿数と査読結果を集計している。2017 年 2 月までの集計結果は次の表のとおりである。

期間	投稿数	採録数	不採録数	査読中	査読日数
2017.3 - 2017.8	7	7	0	0	63.6
2017.9 - 2018.2	14	7	3	4	42.1

近年の掲載年別の Volume における掲載論文数は次のとおりである。

Vol. 6 23 編 92 ページ

Vol. 7 20 編 80 ページ

Vol. 8 21 編 84 ページ

Vol. 9 21 編 84 ページ

国際活動委員会 平成 29 年度 活動報告

委員長 國府寛司

1. 概要

国際活動委員会は、日本応用数理学会の国際的な活動に関する様々な事業を行うための企画立案や提案、実施に向けた準備とその実績の評価や改善のための検討などを行い、当学会の国際的な活動を促進することを目的とする。

2. 平成 29 年度の主な取組とその成果

(A) ICIAM2023 東京招致のための諸活動と招致の成功

大石進一会長と岡本久会員が中心になり、東京観光財団の支援を得て、招致計画の策定、ICIAM Officers によるサイトビジットへの対応、ICIAM 加盟諸学会への宣伝、ICIAM Board Meeting でのプレゼン準備など、多大な労力と熱意をもって周到な準備が行われた。その結果、平成29年5月20日の ICIAM Board Meeting で投票が行われ、2023年8月に早稲田大学においてICIAM2023を開催することが決定した。

(B) CSIAM, KSIAM との連携

平成 29 年 10 月に中国・青島で開催された CSIAM 年会において CSIAM, JSIAM, KSIAM 3 学会の今後の連携を協議する会議が開催され、JSIAM からは西浦廉政氏と國府が参加した。今後の各学会の年会・シンポジウムなどに相互に代表を派遣すること、ポスドク情報の共有などが意見交換され、協議を継続することが確認された。

(C) ICIAM2023 東京開催準備

大石進一氏を大会委員長、岡本久氏を副委員長とする ICIAM 2023 の組織委員会が設立された。また、理事会と組織委員会の意見を基にして ICIAM2023 のロゴが正式決定された。

(D) 英語略称の決定

理事会の要請により日本応用数理学会に関係する役員や賞、研究部会などの英語名称を検討した。

3. ICIAM Board Meeting 2017 の報告

平成 29 年 5 月 20 日に ICIAM2019 開催地であるスペインのバレンシアで開催された ICIAM Board Meeting の議事から、上記の 2(A)を除く重要事項を 3 件報告する。

(A) 次期 ICIAM President の選出

CSIAM推薦の Ya-xiang Yuan (袁亜湘) 氏 (現 中国数学会会長、中国科学アカデミー会員)
専門は非線型最適化、任期は2019年10月から2023年9月。

(B) 台湾の応用数理関係学会の ICIAM 加盟

Chinese Taipei Society for Industrial and Applied Mathematics (small full) の加盟が決定
(なお、これは後に台湾内での反対のため撤回された。以下の参考情報の5(C)を参照。)

(C) ICIAM Dues (加盟費) の値上げ

ICIAM Dues の値上げが承認され、JSIAM を含む large full society は740\$から760\$となった。

4. 以下は 2018 年 4 月以降の活動であるが、参考情報として記載しておく。

(A) CSIAM, KSIAM との連携

平成 30 年 5 月 24・25 日に韓国・大田の KAIST で開催された KSIAM (韓国応用数理学会) の Spring Conference に日本応用数理学会から高島副会長ほか 4 名 (敬称略: 吉田真紀, 西浦廉政, 野津裕史, 國府) が参加・講演した。また, この場で上記 2(B) と同様の CJK-SIAM 連携を協議するミーティングが開催され, ICIAM2019 の mini-symposium を 3 学会合同で企画提案することなどが議論された。

(B) TWSIAM 年会への参加

平成 30 年 5 月 25・26 日に台湾・台北の国立台湾科技大学で開催された TWSIAM (台湾応用数理学会) の年会に日本応用数理学会から佐古会長ほか 3 名 (敬称略: 石村直之, 岡本久, 山中侑也) が参加・講演した。また, 今後の TWSIAM と JSIAM の連携についても協議された。

5. ICIAM Board Meeting 2018 の報告

平成 30 年 5 月 12 日に米国のフィラデルフィアで開催された ICIAM Board Meeting の議事から, 重要事項を 6 件報告する。

(A) ICIAM2023 の SPC Chair の決定

JSIAM から西浦廉政氏を Scientific Program Committee の Chair として提案し, 承認された。

(B) ICIAM Prizes のための Canvassing Committee (推薦委員会) の設置と受賞規程の修正

5 つの ICIAM Prize の中には十分な数の適切な候補者がいないことがあったため, Canvassing Committee を設置して, 5 つの賞に対して良い候補者を推薦できるようにすることが Officer から提案され, 承認された。Canvassing Committee は Past-president が chair となる。

(C) ICIAM への新規加盟について

Royal Dutch Mathematical Society (王立オランダ数学会), Vietnam Mathematical Society (ベトナム数学会), Southern Africa Mathematical Sciences Association (南アフリカ数理科学協会) の加盟が承認された。それぞれ large associate, small associate, small associate になる。

なお, 昨年度に報告した TWSIAM (台湾応用数理学会) の (Chinese Taipei Society for Industrial and Applied Mathematics という名前の) ICIAM 加盟については, 台湾内での反対意見のため実現に至らなかったとの報告があった。

(D) ICIAM2019 の準備状況の報告

ICIAM2019 の Congress Director の Tomas Chacon 氏から準備状況の報告があり, 日本応用数理学会を含む加盟学会の会員に, ICIAM2019 への参加と mini-symposium の提案を強く希望しているとのメッセージが伝えられた。特に産業界からの mini-symposium の提案が期待されている。

(E) ICIAM Dues (加盟費) の値上げ

ICIAM Dues の値上げが承認され, JSIAM を含む large full society は 760 \$ から 780 \$ となった。

(F) その他

翌年に 2 名の Officer の選挙がある ; Officer at Large (現職 : 三井斌友氏) と Treasure (現職 : Jose Cuminato 氏)

表彰委員会 平成 29 年度 活動報告

表彰委員長 土谷 隆
前表彰委員長 畔上秀幸

1. 概要

日本応用数理学会は以下の表彰を行っています。平成 29 年度、表彰委員会は、各賞の授賞候補を決めて理事会に上程しました。上程した候補はすべて理事会で認められ、授賞の運びとなりました。

(1) 日本応用数理学会論文賞

日本応用数理学会論文誌、JJIAM、および JSIAM Letters に発表された論文を表彰するものです。

(2) ベストオーサー賞

学会誌「応用数理」に発表された論文、インダストリアルマテリアルズを表彰するものです。

(3) 若手優秀講演賞

年会の一般講演ならびにオーガナイズドセッションから若手研究者（当該年 4 月 1 日現在で 35 歳未満）で優れた研究成果を発表した講演者を表彰するものです。

(4) 優秀ポスター賞

年会のポスター講演から若手研究者（当該年 4 月 1 日現在で 35 歳未満）で優れた研究成果を発表した講演者を表彰するものです（年会実行委員会の担当）。

(5) 研究部会連合発表会優秀講演賞

研究部会連合発表会で優れた研究成果を発表した講演者を表彰するものです。

(6) 日本応用数理学会業績賞

応用数理分野において、顕著な業績をあげた方を表彰するものです。

これらに加え、日本応用数理学会は、文部科学大臣賞、日本学術振興会賞などさまざまな外部賞への会員の推薦も行っています。

2. 表彰実績

(1) 日本応用数理学会論文賞

2014 年 3 月（第 24 巻第 1 号）から 2016 年 12 月（第 26 巻 4 号）の『日本応用数理学会論文誌』および JJIAM に発表された論文の中から計 5 編を論文賞候補に選定しました。さらに、JSIAM Letters の 2013 年（第 5 巻）から 2015 年（第 7 巻）に発表された論文の中から 1 編を論文賞候補に選定しました。

① 理論部門

石川 歩惟，谷口 隆晴（神戸大学），

「ハミルトン方程式に対する離散勾配法の Riemann 構造不変性」

（日本応用数理学会論文誌 Vol.26, No.4, 2016, pp.381-415）

② 実用部門

野瀬 大一郎，西村 直志（京都大学）

「2 次元 Helmholtz 方程式の周期境界値問題に現れる固有値問題に対する Sakurai-Sugiura 法

と周期多重極法を用いた数値計算」

(日本応用数理学会論文誌 Vol.24, No.3, 2014, pp.185-201)

③ サーベイ部門

内田 幸寛 (首都大学東京)

「超楕円 Jacobi 多様体の Mordell-Weil 群の計算」

(日本応用数理学会論文誌 Vol.25, No.3, 2015, pp.229-253)

④ JJIAM 部門

Kokichi Sugihara (Meiji University),

“A new type of impossible object that becomes partly invisible in the mirror”

(Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics Vol.33, 2016, pp.525-535)

Ippei Obyashi (Tohoku University), Shinya Aoi, Kazuo Tsuchiya, Hiroshi Kokubo (Kyoto University),

“Common formation mechanism of basin of attraction for bipedal walking models by saddle hyperbolicity and hybrid dynamics”

(Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics Vol.32, 2015, pp.315-332)

⑤ JSIAM Letters 部門

Yuka Kobayashi, Takeshi Ogita (Tokyo Woman's Christian University),

“A fast and efficient algorithm for solving ill-conditioned linear systems”

(JSIAM Letters Vol.7, 2015, pp.1-4)

(2) 日本応用数理学会ベストオーサー賞

2014 年 3 月 (第 24 巻第 1 号) から 2016 年 12 月 (第 26 巻 4 号) の学会誌『応用数理』に発表された論文、インダストリアルマテリアルズの中からベストオーサー賞候補 2 編を選定しました。

① 論文部門

大林 一平 (東北大学),

「パーシステンス図の逆問題」

(応用数理 Vol.26, No.4, 2016, pp.7-14)

② 井手 剛 (IBM)

「潜在特性モデルによるプロジェクトリスク予測技術」

(応用数理 Vol.26, No.3, 2016, pp.25-28)

(3) 日本応用数理学会若手優秀講演賞

以下の講演を授賞候補として選定しました。

神吉 雅崇 (関西大学)

「疑似可積分性をもつ離散方程式」

國谷 紀良 (神戸大学)

「年齢構造化感染症モデルに対する基本再生産数 R_0 の数値近似」

松江 要 (九州大学/カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)

「有限進行波の精度保証付き数値計算」

吉岡秀和（島根大学）

「河床付着藻類の繁茂抑制に関する変分不等式の具体的な厳密解と漸近解析」

(4) 日本応用数理学会優秀ポスター賞

選考、表彰とも年会実行委員会が担当しました。

(5) 研究部会連合発表会優秀講演賞

以下の講演を授賞候補として選定しました。

後藤 振一郎（京都大学）

「戸田の双対変換とルジャンドル変換の関係」

宮路 智行（明治大学）

「Proudman-Johnson 方程式の unimodal な解に対する計算機援用証明」

井元 佑介（東北大学）

「Poisson 方程式に対する粒子法の離散 H_0^1 ノルムによる安定性」

(6) 日本応用数理学会業績賞

以下の方を授賞候補として上程しました。

B 部門（実用を重点とするもの）

萩原 一郎（明治大学）

「計算科学・数理科学援用折紙工学の創設と展開」

3. 外部推薦

平成 29 年度は、3 件の外部推薦を行いました。

ネットワーク委員会 平成 29 年度 活動報告

ネットワーク委員長 荻田武史

1. 概要

ネットワーク委員会は、Web やメールなどの当学会におけるネットワーク関連の実務を担当ないしは支援することにより、当学会の活動をより円滑にすることを目的とする。

2. 主たる業務

ネットワーク委員会の主たる業務は以下のものである。

(a) 当学会 Web の維持、更新。

Web における主な内容は以下の通り。

- i. 定款等の各種規程、理事等運営情報の準静的情報の提供。
- ii. 学会からの通知、各種研究集会、人事情報等の動的情報提供。
- iii. 上記動的情報の投稿受付。
- iv. 上記投稿されたもののうち、共催・協賛等判断の不要な情報についての掲載の可否の判断。
- v. 会員の新規入会受付。この情報は入会担当部署へそのまま渡される。
- vi. 論文誌の Web での掲載 (CiNii から J-STAGE への移行期間のみ)。
- vii. 会員向け情報発信のためのメーリングリスト (下記) 情報更新受付。この情報に基づき、メーリングリストを適宜更新。
- viii. JSIAM Online Magazine (JOM) の投稿システムの管理。
- ix. JSIAM 会合システムの管理。年会や研究部会連合発表会の Web ページのサポート。

(b) メーリングリストを用いた、学会員向け情報の発信 (週 1 回の頻度)。

(c) 理事会等、学会運営用各種メーリングリストの管理。現在、約 40 のメーリングリストを管理中。

(d) Web, メール用サーバの維持管理。平成 30 年 6 月現在、Web サーバは Amazon Web Service (AWS) 及び大阪大学に設置してある。メールサーバは、G Suite (by Google Cloud) を利用中。

(e) ネットワークドメイン jsiam.org の維持管理。DNS サーバは、Dotstar のものを利用中。

(f) その他、ネットワークに関する実務: 緊急時会員向けメールの送信等。

(g) ICIAM の Web サーバの管理。

3. 平成 29 年度実績

上記の主たる業務を恒常的に遂行している。ネットワーク関連業務について特に大きな支障無し。なお、平成 29 年度中は緊急時会員向けメールの送信事例無し。

4. 平成 29 年度ネットワーク委員会構成メンバー

委員長 荻田武史 (東京女子大学)

委員 降旗大介 (大阪大学)、松尾宇泰 (東京大学)、山中脩也 (明星大学)、関根晃太 (東洋大学)

5. 今後の課題について

ネットワーク委員会における今後の課題として以下のものがある。

- (a) Web サーバの統合による Web 利用時の便宜向上。
- (b) 会員情報の Web による更新。
- (c) 会員費支払い等、煩雑な手続きの支援。

以上のうち、(b), (c)については、会員システム及び会合システム（現在、構築中）によって実現可能である。

以上

規定類の整備・改正の記録

総務・事務局担当理事 中口悦史

平成 29 年度理事会において以下の規程類の整備・改正等を行いました。

- ・一般規程 平成 29 年 6 月 2 日改正

資産管理運用規程 平成 29 年 6 月 2 日制定

定款第 4 4 条において「理事会が別に定める」と定められていた資産管理運用規程が、制定されていなかったため、一般規程で該当する第 1 7 条および第 1 8 条を切り出して、資産管理運用規程として新たに制定した。

合わせて、一般規程第 2 条の理事分掌に「ダイバーシティ向上」を追加した。

- ・選挙規程 平成 29 年 7 月 28 日改正

オーストラリア数学会との相互協定に従って所要の改正を行い、合わせて、選挙権者の定義を明確に（公示日の前月末の正会員）した。

- ・論文賞規程 平成 29 年 10 月 17 日改正

講演賞・外部表彰規程 平成 29 年 11 月 24 日改正

ベストオーサー賞規程 平成 30 年 3 月 30 日改正

論文賞・ベストオーサー賞、年会優秀講演賞・ポスター賞、研究部会連合発表会優秀講演賞の選考において、選考の対象となる論文等の著者に選考委員が含まれる場合の取扱いを改めた。

- ・研究部会規約 平成 30 年 3 月 30 日改定

過去の理事会（平成 23・26 年度）において審議された規約改定の記録漏れを遡って反映した。加えて、連合発表会の発表者に JSIAM Letters への投稿を促す文言を追加した。

- ・学会会計収入の消費税課税区分について 平成 29 年 11 月 24 日承認

消費税の課税・不課税・非課税の別を整理し、ホームページ等で公示することとした。

- ・英文呼称 平成 30 年 3 月 30 日承認

平成 9 年度理事会での承認以降に使われるようになった用語等の英文呼称を整理した。

以上

日本応用数学会 フェロー名簿 (50音順 敬称略)

氏名	所属・役職(任命時)
甘利俊一	理化学研究所脳科学総合研究センター特別顧問
池田 勉	龍谷大学教授
池邊八洲彦	(故人) 情報科学国際交流財団理事長・筑波大学・会津大学名誉教授
茨木俊秀	京都大学名誉教授
伊理正夫	東京大学名誉教授
鵜飼正二	(故人) 東京工業大学名誉教授
牛島照夫	電気通信大学名誉教授
梅谷征雄	静岡大学教授
大石進一	早稲田大学基幹理工学部学部長・早稲田大学理工学術院教授
大塚厚二	広島国際学院大学教授
大野栄一	元三菱電機(株)常務取締役
岡本龍明	NTT情報流通プラットフォーム研究所岡本特別研究室室長・NTTフェロー
岡本 久	京都大学数理解析研究所教授
小柳義夫	神戸大学大学院システム情報学研究科特命教授
加古 孝	電気通信大学教授
柏木 寛	(故人) 通産省工業技術院長
金山 寛	九州大学名誉教授・名古屋大学特任教授・東洋大学客員研究員
河原田秀夫	応用数理コンサルティング河原田事務所代表
儀我美一	東京大学大学院数理科学研究科教授
菊地文雄	元東京大学教授
* 岸本一男	筑波大学名誉教授
剣持信幸	千葉大学名誉教授
近藤次郎	(故人) NPO環境テクノロジーセンター会長
櫻井武一	元東京電力フェロー
薩摩順吉	青山学院大学教授・東京大学名誉教授
杉原厚吉	明治大学教授・東京大学名誉教授
杉原正顯	青山学院大学理工学部教授
鈴木 貴	大阪大学大学院基礎工学研究科教授
高田 章	旭硝子(株)中央研究所特任研究員
高田俊和	元日本電気基礎研究所主席研究員
高田 勝	(故人) 九州大学名誉教授
高橋理一	元(株)豊田中央研究所 所長
高柳誠一	元(株)東芝 副社長
武田康嗣	日立工機(株)名誉相談役
竹田練三	(株)日立製作所エネルギー・環境システム研究所技師長
田中秀雄	(財)気象業務支援センター理事長
田邊國士	統計数理研究所名誉教授・早稲田大学招聘研究員・山梨大学名誉教授
田端正久	早稲田大学特任教授・九州大学名誉教授
土屋卓也	愛媛大学理工学研究科教授
戸田 巖	高千穂交易(株)顧問
中尾充宏	佐世保工業高等専門学校長・九州大学名誉教授
中村振一郎	(独)理化学研究所中村特別研究室特別招聘研究員・三菱化学フェロー
中村正彰	日本大学教授
中村佳正	京都大学教授
名取 亮	(故人) 筑波大学名誉教授
西浦廉政	東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授

	西田孝明	京都大学名誉教授
	二宮市三	(故人) 名古屋大学名誉教授
	野木達夫	京都大学名誉教授
	萩原一郎	東京工業大学教授
	浜田穂積	電気通信大学名誉教授
*	速水 謙	国立情報学研究所情報学プリンシパル研究系教授
	一松 信	日本数学検定協会名誉会長
	姫野龍太郎	理化学研究所情報基盤センター長
	平野菅保	(故人) 元日本大学教授
*	福井義成	文部科学省研究振興局計算科学技術推進室 技術参与
	藤井 宏	京都産業大学教授
	藤重 悟	京都大学名誉教授・京都大学数理解析研究所特任教授・大阪大学名誉教授
	藤田 宏	東京大学名誉教授・東海大学教授
	俣野 博	東京大学数理科学研究科教授
	松宮 徹	新日本製鐵(株) フェロー
	三井斌友	同志社大学教授・名古屋大学名誉教授
	三村昌泰	明治大学教授
	室田一雄	東京大学大学院情報理工学系研究科教授
	森 正武	(故人) 京都大学名誉教授
	矢川元基	東京大学名誉教授・東洋大学計算力学研究センター長
*	柳田英二	東京工業大学理工学研究科教授
	山口昌哉	(故人) 京都大学名誉教授
	山本哲朗	愛媛大学名誉教授

*印は2018年6月総会にて任命